

令和3年度 名古屋大学COI最終成果報告会

人がつながる “移動” イノベーション



地域ニーズに合った移動手段を住民と共創し、 持続可能なモビリティ社会を実現

モデルコミュニティ形成プロジェクト
グループリーダー
森川 高行

名古屋大学 未来社会創造機構 教授

令和4年3月14日



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



目指すべき将来の姿



地域ニーズに合った移動手段を住民と共創し、 持続可能なモビリティ社会を実現



高齢化がいち早く進む、中山間地域、ニュータウン、地方都市において、
「地域移動イノベーション」を進め、全国への横展開を目指す

地方都市モデル (幸田町)



パブリックコメントを経て、**MBが行政計画に位置付けられ**実証を推進



高齢になっても、自らの意思で
いつでもどこでも移動できる社会の実現



中山間地域モデル (足助・旭・稲武)



豊田市公共交通基本計画、豊
田市交通まちづくり行動計画
(2016-2020)に位置づけられ
実証を推進



ニュータウンモデル (高蔵寺NT)



高蔵寺リ・ニュータウン計画、高蔵
寺ニューモビリティタウン構想に位
置づけられ実証を推進

4 交通まちづくり行動計画(2016~2020)

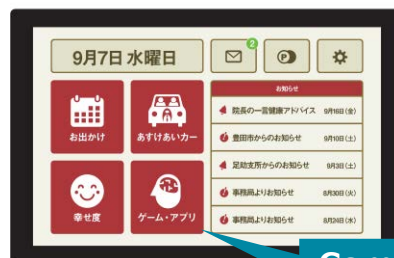
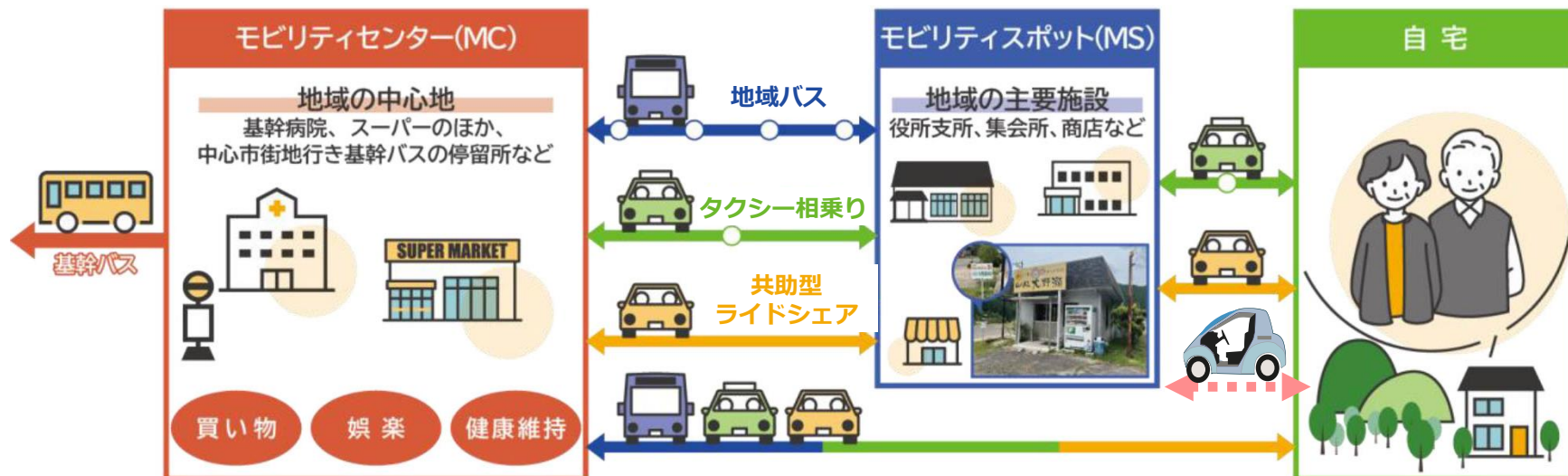


モビリティブレンド (MB) 導入のイメージ

広域のお出かけ
促進イベント

狭域のお出かけ
促進イベント

タブレットなどを
使った健康見守りや
移動リクエスト



Community Support Systemの
専用タブレットを配布

共助型
ライドシェア

たすけあいカー

タクシー
相乗り

タクシム

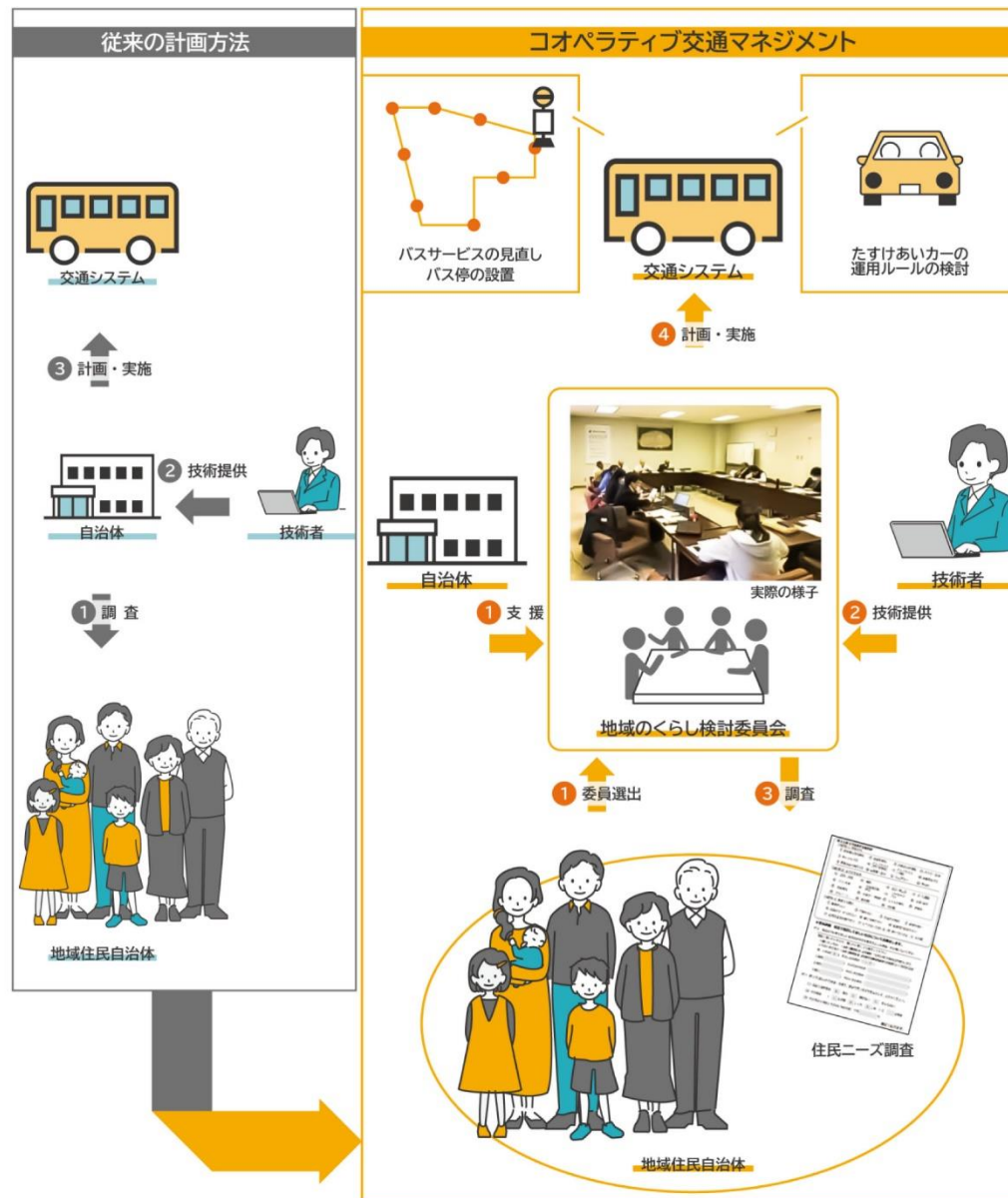
自動運転

ゆっくり自動運転



バス乗車や相乗りは地域ICカード
による地域ポイントで決済

住民のオーナーシップ意識の涵養が必要不可欠



地域イノベーション

多様な移動技術を取り入れた社会 家から外へ⇒社会参加促進



単なる実証ではなく、モデルコミュニティを構築し、技術・仕組を実装

モデルコミュニティ

中山間地域モデル



ニュータウンモデル



地方都市モデル

